



★プロジェクトの概要

「東部地域でつながり、やってみようプロジェクト」は、2022年3月に策定された「東部振興構想」に掲げられた東部地域の将来像“人がつながり、支え合い、チャレンジし続けるまち”～豊かな自然、快適な住環境と多様な産業が共存するまちづくり～の実現をめざし、アクションプランに位置付けられた取組です。

この通信は、プロジェクトの進捗状況をお伝えするとともに、より多くの仲間・応援団を集めるために作成・配布するものです。

令和7年4月のトライアル活動スタートに向けて、2月～3月にかけて、全3回のプログラムによるワークショップを東部市民センターで開催しました。今回の通信では第3回の様子をお届けします。

今回のワークショップで生まれたトライアル活動が4月から始動します。トライアル活動のメンバーやご協力いただける方を随時募集しています！興味のある方は、右下記載の問合せ先までぜひご連絡ください！

01 2025年度スタートのトライアル活動に向けたワークショップ(Day3)

4月のトライアル活動スタートを目指したワークショップを、全3回開催し、最終回となるDay3は以下のとおり開催されました。

日 時：令和7年3月23日（日）
10:00～12:30
会 場：東部市民センター 講堂
参加者数：18名



今回は、Day1とDay2の内容をふまえて実際にトライアル活動に向けた仮のチームを編成するプログラムで進めました。Day3で初めて参加された方やDay2に引き続き中学生のみなさんにもご参加いただきました。

今回のゴールは「仮のトライアル活動のチームをつくり、メンバーそれぞれが活動するうえで大切にしたいことを共有する！」で、詳しい取組アイデアを考える前に、どんな東部地域を目指して自分たちが活動に取り組むかをチームで共有する時間としました。

02 MYアイデアのマッチングをしてみよう！

参加者のみなさんには事前に、Day2で出たアイデア一覧表や、アイデア関係マップ等を配布しました。ワークショップの最初のプログラムでは、それらを参考にしながら、Day2で記入した「MYアイデアシート」をブラッシュアップしました。

記入後、簡単にアイデアを発表し、いよいよ“マッチングタイム”です。20分間、一緒に活動してみたい人との対話、興味のあるアイデア、詳しく内容を聞いてみたいアイデアなどを自由に深掘りできる時間を設けました。

はじめは探りさぐりでしたが、途中からは積極的に声をかける参加者もいらっしゃるなど、和気あいあいとした雰囲気のなか実施することができました。

今後活動してみたいテーマや目的ごとでの集まりが徐々に生まれ、次のプログラムにうつります。



03 チームの共有シートを書いてみよう！

マッチングタイムによって4つの仮のチームができました。この4チームで今後の取組の展望を話し合い、「チームの共有シート」に沿って検討を進めていきました。最後にはシートの発表をし、その内容を踏まえて、チームの合体やお引越しもOKとする“チームの再編成”を行いました。

「チームの共有シート」には、「ターゲット」や「目的」、「このチームが大切にしたいこと、実現したいこと」等を入力できる欄があり、チーム内でそれぞれの想いを共有しました。

チームの共有シート	
仮のチーム名 このチームの活動テーマを一言で表そう！	
このチームが大切にしたいこと、実現したいこと （活動の目的や、達成したいことなど）	
ターゲット このチームが活動する対象は？	大切にしたいこと （活動の目的や、達成したいことなど）
活動の進め方 （活動の進め方、役割分担など）	
参加メンバー （参加者の名前）	活動の進め方 （活動の進め方、役割分担など）

↑チームの共有シート

今回の仮のチームのテーマは、「空き家、DIY」、「クイズラリー、まち歩き」、「移住、魅力発信」、「外国籍」と幅広くありました。

どのチームでも、“東部地域をもっとにぎやかに、楽しいまちにしたい！”という想いが伝わる活発な議論がされていました。

記入後の
チームの共有シート（一部抜粋）→



シート記入後には全体発表です。参加者のみなさんは、各チームの「大切にしたいこと」を聞き、自分を取り組みたい内容や想いに、より近いチームへのお引越しをしたり、チームの合体をしました。そこから生まれたトライアル活動は以下の3つです。4月に各チームでキックオフミーティングを実施し、詳細な活動内容を決めていきます！



地域とつながるクイズラリー×こいこいプロジェクト
中学生や、東部地域で地域活動・サークル活動をしている方など幅広い世代が集まるチーム。地域の魅力を発信して、東部地域や桃花台に来てもらう人を増やしたい！そのためにはまず、自分たちや東部地域に住む人が、まちの魅力を再発見できる企画や情報発信に取り組んでみる！



MICS (Multicultural Information Channel Shinooka) プロジェクト
社会人、大学生、放送部に所属する高校生が集まるチーム。外国にルーツをもつ人たちと一緒に、交流イベントやインスタライブやインターネットラジオを活用した情報発信を実施し、生活様式・文化・価値観の違いを理解することを目的に活動する。



子育て世代と高齢者のつながりDIY
DIYや空き家に興味がある大人が集まるチーム。子育て世代と高齢者の交流の場の提供や、支援をするためにDIYを使う。まずは小さく始めてレベルアップを目指す！



